

平成19年度 事務事業評価表		担当	総務部 安全安心課				内線等	1901
事務事業名	防災訓練事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	蒲郡市地域防災計画					Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	防災
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対し
手 段	防災訓練のうち、主に職員の本部運用訓練及びボランティアコーディネーターの訓練を実施することによって
想定する成果	発災時の初動体制の確立、情報収集とその対応及びボランティア等の受入体制の確立を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
登録者	57人	72人	88人
訓練参加者	25人	30人	28人

成果指標

成果指標名	訓練参加割合
成果指標の説明	$(\text{訓練参加者数} / \text{ボランティアネットがまごおり登録者}) \times 100$

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		43.9%				41.7%				31.8%			
成果指標													
事業費	事業費												
	人件費	4,670				4,686				4,707			
	(人数)	正規	0.6	非常勤		正規	0.6	非常勤		正規	0.6	非常勤	
	合計	4,670				4,686				4,707			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	4,670				4,686				4,707			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	ボランティアコーディネーター参加者の習熟度は高くなりつつあるが、参加者が増加しない。
経済効率性	3	3	2	3	人件費以外の費用は、ほとんどかかっていない。
事務効率性	2	2	2	2	防災訓練に合わせたボランティアコーディネーターの打合せが夜間になってしまう。
必要性	3	3	3	3	発災後の職員対応や支援団体等受入体制整備は、早期災害復旧を行うためにも、訓練は必要。
小計	10	10	9	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	「施策名」がその他のものは、記載不要
合計	12	10	11	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
愛知県主催の防災ボランティアコーディネーター養成講座は終了してしまったため、今後は、ボランティアネットがまごおりの協力を受け、市主催で養成講座を開催していく必要がある。市民総ぐるみ防災訓練に合わせてコーディネーターの訓練を行っているが、今後は、独自の訓練も実施していきたい。
上記改善点の実施状況
平成18年度から3年市主催のボランティアコーディネーター養成講座を開催したところ、市職員を除き一般の参加者61人が受講した。

今後さらに改善すべき点

ボランティアコーディネーターの養成受講団体であるボランティアネットがまごおりを通し、団体の維持と活動内容充実に協力

平成21年度予算に反映する項目

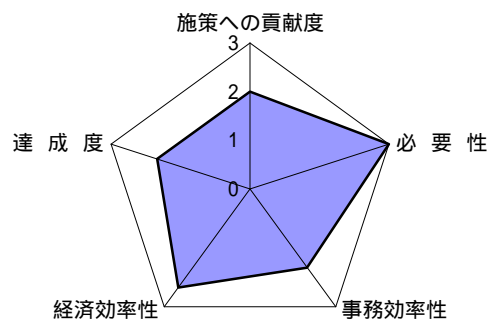
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点